

大事故を防ぐための

金属材料の遅れ破壊のメカニズムと事故防止策

■日時 6月19日(月) 13:00~17:00
20日(火) 9:30~16:30

■会場 弊社研修室(東京・西新宿)

■受講料

	本 体	消費税等	合 計
1 名	66,000円	3,300円	69,300円
同時複数申込 の場合1名	61,000円	3,050円	64,050円

■申込方法

最終ページの申込要項をご覧ください。下記お申込書に所定事項ご記入の上、FAXか弊社ホームページのお申し込みフォームよりお申込み下さい。
折り返し、受講票・会場の地図と請求書を郵送いたします。

主 催 株式会社 日本テクノセンター セミナー事業部
申込先 〒163-0722 東京都新宿区西新宿2-7-1(新宿第一生命ビル22F)

TEL:03(5322)5888 FAX:03(5322)5666

E-mail:jtc@j-techno.co.jp

○セミナーのご案内・お申し込みは <http://www.j-techno.co.jp>

E-mail会員募集中! <http://www.j-techno.co.jp/frame/club.htm>よりお申込み下さい。セミナー等の情報を定期的に無料でお届けします。

講師の言葉

遅れ破壊は材料、力学、環境の3要因により生じるとされています。その事故防止策はこれらの要因の理解が大事です。研究は古くから行われてきておりますが、研究者、技術者の専門により、取り組み方が1要因に偏りがちです。この3要因の全てを理解する研究者、技術者が少ないのが実情です。構造物の設計、金属材料、破壊力学、腐食工学に関して第一線で研究・技術に長年従事した経験を活かし、3要因に偏りのなく、平易に講義を致します。環境の大きな要因である水素に関しては、装置の発展により、定量化、ある程度の可視化が可能となり、役割が徐々に明らかになってきています。教科書に記載している綺麗事のみならず、事故防止策としてのノウハウとしての生々しい情報もお話しします。高専・大学・大学院では講義を受けていない、先輩から教えてもらえない情報、学会と協会では質問できない、教えてくれない、得られない情報を取得する絶好のチャンスです、受講をお待ちしています。

予備知識 遅れ破壊または破壊に対する問題をかかえているあるいは興味がある方ならば、予備知識の必要はありません。
修得知識 事故防止の指針が得られ、今後の業務に反映できます。

■プログラム■

講師 (株)アドニテク 代表取締役 工学博士

野 末 章 氏

I. 遅れ破壊の基礎

1. 遅れ破壊とは
2. 遅れ破壊の歴史
3. 遅れ破壊の模擬試験
4. 過去の遅れ破壊モデル

II. 遅れ破壊と力学

1. 遅れ破壊と時間依存型破壊
2. 破壊力学は必要か
3. 遅れ破壊と疲労破壊との相違
4. 破壊条件

III. 遅れ破壊と環境

1. 環境とは
2. 水素の役割
3. 水素の定量

IV. 遅れ破壊と金属材料

一遅れ破壊に手ごわい材料の開発は可能かー

1. 鉄鋼材料
2. チタン合金
3. セラミックス
4. 破面観察

V. 遅れ破壊とその事故防止策

一遅れ破壊を防ぐ特効薬はー

1. 遅れ破壊事例
2. 遅れ破壊特性
3. 遅れ破壊の季節性

VI. 非破壊検査と余寿命評価

一予防と検査が大事ー

1. 非破壊検査と破壊力学
2. 余寿命評価

(切取又はコピーしてご記入下さい)

■申込書 (FAXにてお申し込みください)

2006.6/19, 20「金属材料の遅れ破壊のメカニズムと事故防止策」

20060320

受講Noは記入不要です。

会社名				TEL	()
住 所				FAX	()
受講No	所属部課名(正式名称でご記入下さい)			受講者氏名	通信欄
※	E-mail				
※	E-mail				
お支払い方法(○印でご記入) (三井住友・みずほ・三菱東京UFJ) 銀行に 月 日に振込予定					

【申込先】〒163-0722 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル22F (株)日本テクノセンター TEL:03-5322-5888 FAX:03-5322-5666